

令和5年度の重点課題

- 運動やスポーツをすることが「やや嫌い」と答えた児童がいる。
- 男子では、上体起こし、反復横とび、ソフトボール投げの記録が県平均値かつ全国平均値未満である。
- 女子では、長座体前屈、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ソフトボール投げの記録が、県平均値かつ全国平均値未満である。
- 在籍児童数が少なく、男女比も偏りがあるた、活動できる内容に制限が多い。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

- 毎時間ランニングメニューやサーキットメニューを取り入れる。
- 遊びや競争の要素を取り入れて、仲間と楽しくトレーニングができるようにする。
- 定期的に記録を測り、自己の記録の変化を確認させて、記録向上の意欲につなげる。
- 外遊びの企画や、レクリエーション企画を、委員会で取り組む。
- 体力テストの個人別の結果を、個人懇談で保護者と共有する。
- 個人で取り組めるトレーニングメニューを資料として配布する。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.50	12.25	36.00	37.50	37.75	10.15	142.50	21.25	47.75	第5学年	16.50	18.00	39.00	44.50	57.50	8.75	157.50	21.50	64.00

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値（R6）及び全国平均値（R5）を記入し、比較を行います。

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	50.00	50.00	0.00	0.00	第5学年	100.00	0.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・年間通して準備運動(5分)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れる。
- ・授業の中で「上体起こし」「反復横とび」「立ち幅とび」「ボール投げ」の向上につながる運動を、遊びや競争の要素を取り入れて、仲間と楽しく行えるようにする。
- ・定期的に記録を取り、自己の記録の変化を確認させて、体力向上の意欲につなげる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・委員会が主体となり、全校レクや運動ウィークの取組をすすめることで、外遊びの習慣化を目指す。
- ・オリンピック・パラリンピアン講演会や、女子野球選手によるティーボール講習会を実施する。
- ・児童が興味をもって自主的に取り組めるよう、運動遊びの図解カードを作成し、各クラスに配付する。

重点課題

情意面での課題

- 男子
 - ・運動やスポーツをすることが「好き」、「やや好き」と答えた児童の割合の合計が100%である。特に情意面での課題は見られない。
- 女子
 - ・運動やスポーツをすることが「好き」と答えた児童の割合が100%である。情意面での課題は見られない。

体力面での課題

- 男子:「握力」、「長座体前屈」以外の種目において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子:「上体起こし」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 全体:1日の活動時間が30分未満の児童が0%であるが、運動機会が月1〜3日程度の児童が16.6%である。

令和7年度の重点目標値

- 新体力テストの総合評価(AB-DE)率0%以上を目指す。(今年度は-33.3%)
- すべての種目において、得点平均が5以上を目指す。
- 体力総合評価が全員C以上を目指す。

令和5年度の重点課題

〈男子〉

○すべての種目において県平均、全国平均値を上回っている。

○握力、立ち幅とび、ハンドボール投げの得点平均が6点未満である。

○上体起こし、反復横とび、シャトルランでは、得点の高い生徒と低い生徒の二極化となっている。

〈女子〉

○握力、上体起こし、立ち幅とび以外において、県平均、全国平均値を下回っており、体力合計点も下回っている。

○50m走とハンドボール投げの得点平均が5点未満である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○ランニングメニューにシャトルラン形式を取り入れて、負荷がかかった状態で運動を継続する力をつける。

○男女で共通して得点平均の低いハンドボール投げについて、正しい投球動作を身につけるためのトレーニングメニューを取り組む。

○定期的に記録を取り、自己の記録の変化を確認させて、記録向上の意欲につなげる。

○昼休みの外遊びの企画や、レクリエーション企画を委員会で取り組む。

○体力テストの個人別結果を、個人懇談で保護者と共有する。個人で取り組めるトレーニングメニューを資料として配布する。

○部活動で体力づくりを行う。

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長距離歩行	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長距離歩行	反復横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	
第2学年	36.67	27.33	47.33	52.00	71.33		7.60	203.00	21.67	44.33	第2学年											

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値（R6）及び全国平均値（R5）を記入し、比較を行います。

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第2学年	66.67	33.33	0.00	0.00	第2学年				

学校独自の意識調査

学校独自の意識調査の記入欄

重点課題

情意面での課題

○ 男子
・運動やスポーツをすることが「好き」、「やや好き」と答えた生徒の割合の合計が100%である。特に情意面での課題は見られない。

体力面での課題

○ 男子
・「反復横とび」、「シャトルラン」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
・「1日の活動時間が30分未満の生徒が33.3%に対し、「1～2時間」、「2時間以上」を合わせると66.6%となっており、運動習慣のレベルが二極化している。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・年間通して準備運動(5分)でサーキットメニューを取り組む。
- ・授業の中で体力向上につながる運動を、遊びや競争の要素を取り入れて、仲間と楽しく行えるようにする。
- ・定期的に記録を取り、自己の記録の変化を確認させて、体力向上の意欲につなげる。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・委員会が主体となり、全校レクや運動ウィークの取組を進めることで、外遊びの習慣化を目指す。
- ・オリンピック・パラリンピアン講演会を実施する。
- ・全生徒を対象とした意識調査を実施する。

令和7年度の重点目標値

- 新体力テストの総合評価(AB-DE)率100%を目指す。(今年度は33.3%)
- すべての種目において、得点平均が5以上を目指す。
- 体力総合評価が全員C以上を目指す。